

製品安全データシート

改訂日 2011. 5. 26

作成日 2009. 12. 7

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 スタティックガード ZC-26
 会社名 株式会社 エンジン
 住所 大阪市東成区東今里 2-8-9
 担当部門
 電話番号 06-6974-0031
 FAX 番号 06-6974-5661
 メールアドレス maido@engineer.jp
 テクニカルサポート 06-6974-0100
 推奨用途及び使用上の制限 帯電防止剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール 区分1
 引火性液体 区分3

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分外
 急性毒性（経皮） 区分外
 急性毒性（吸入：蒸気） 区分外
 皮膚腐食性／刺激性 区分2
 眼に対する重要な損傷／眼刺激性 区分1
 呼吸器感作性 分類できない
 皮膚感作性 分類できない
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発がん性 分類できない
 生殖毒性 区分2
 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） 区分1（中枢神経系 腎臓 全身毒性）
 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） 区分2（血管 肝臓 脾臓）
 吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 区分2
 水生環境有害性・慢性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・引火性液体および蒸気
- ・皮膚刺激
- ・重篤な眼の損傷
- ・生殖能又は胎児への悪影響の恐れ
- ・臓器の障害（中枢神経系 腎臓 全身毒性）
- ・長期または反復暴露による臓器障害の恐れ（血管 肝臓 膵臓）
- ・水生生物に毒性

3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：混合物（エアゾール製品）

成分情報及び含有量：

化学名	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 質量%	
内容液	未変性エタノール	2-202	64-17-5	該当	対象外	35～45
	アルキルトリメチルアンモニウムクロライド ^o	—	—	対象外	対象外	1以下
	ポリオキシエチレンアルキルアミン	7-60	1541-67-9	対象外	対象外	1以下
	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	7-97	9004-98-2	対象外	対象外	1以下
	イソプロピルアルコール	2-207	67-63-0	対象外※	対象外	1以下
	精製水	—	7732-18-5	対象外	対象外	1以下
噴射剤	プロパン	対象外	74-98-6	対象外	対象外	10～20
	ブタン	対象外	75-28-5、106-97-8	該当	対象外	40～50

※イソプロピルアルコールの含有量：0.0339%以下

4. 応急処置

吸入した場合：暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染されて衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワー等で洗うこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

汚染した衣服はすみやかに脱ぎ捨てる。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：飲み込んだり、飲み込んだ懸念がある場合は医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末 炭酸ガス 泡 砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消火方法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用し、皮膚への付着や、蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取扱い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れてないこと。

取り扱い換気のよい場所で行うこと。

換風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるところに置かないこと。

子供の手の届かないところに保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

成分	管理濃度 (ppm)	許容濃度 (ppm)	
		日本産業衛生学会	ACGIH
内容液	200 (イソプロピルアルコール)	400 (イソプロピルアルコール)	200 (TWA) 400 (STEL) (2-プロピルノール)
噴射剤	未設定	1000	1800 (mg/m ³) (TWA)

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具：保護マスク。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク。

目の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面

手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

9. 物理的及び化学的性質

内 容 液

物理的状態

形状	: 液体
色	: 黄色透明
臭い	: アルコール臭
pH	: 情報なし

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点	: 情報なし
融点（流動点）	: 情報なし
引火点	: 情報なし

燃焼又は爆発特性

燃焼又は爆発限界	: 上限 情報なし 下限 情報なし
----------	-------------------

蒸気圧 : 情報なし

蒸気密度 : 情報なし

比重（密度） : 情報なし

溶解度

水溶解性 : 溶解

溶媒溶解性 : 情報なし

n-オクタノール／水分配係数（log Pow） : 情報なし

自然発火温度 : 情報なし

分解温度 : 情報なし

臭いの閾値 : 情報なし

蒸発速度 : 情報なし

燃焼性（固体、ガス） : 情報なし

粘度 : 情報なし

その他のデータ : 情報なし

噴 射 剤	プロパン	ブタン
外 観 :	無色気体	無色気体
密 度 :	0.501g/cm ³	0.557~0.579g/cm ³ (20°C)
蒸気比重 :	1.60	2.00~2.10 (空気=1)
蒸 気 圧 :	0.744MPa (20°C)	0.107~0.202MPa (20°C)
沸 点 :	-42.0°C	-0.5~-12°C
融 点 :	-187.69°C	-138.3~-159.4°C
引 火 点 :	-104°C	-60~-81°C
発 火 点 :	450°C	365~460°C
爆発限界 :	2.1~9.5vol%	1.8~8.4vol%
溶 解 性 :	水に不溶	水に不溶

10. 安定性及び反応性

内 容 液

吸引性呼吸器有害性

製品についての情報 : 情報なし

成分についての情報 : 情報なし

その他 : 情報なし

噴 射 剤

プロパン

急性毒性 : 10,000ppm / 短期暴露何ら症状もなし。

100,000ppm / 短期暴露数分吸入後にめまい。

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他 : 若干の麻醉性有り

ブタン

急性毒性 : 吸入 マウス LC₅₀ 680mg/l (約26%) 2時間

ラット LC₅₀ 658mg/l (約26%) 4時間

刺激性 : 皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他 : 若干の麻醉性有り

(注) LC₅₀ : 半数致死濃度 (ppm)

1.2. 環境影響情報

内 容 液

生態毒性 : 情報なし

残留性 / 分解性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

生態蓄積性 : 情報なし

他の有害影響 : 情報なし

噴 射 剤

現在のところ知見なし。

1.3. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

1.4. 輸送上の注意

国 連 分 類 : (クラス2) 高圧ガス

国 連 番 号 : 1950

注 意 事 項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送 : 消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

高压ガス保安法：適用除外(液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法：危険物第4類 第2石油類(水溶性液体) 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法：別表第一危険物、4. 引火性の物
通知対象物質(ブタン)

P R T R 法：該当せず

船 舶 安 全 法：危険物(高压ガス)

航 空 法：高压ガス

16. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献：

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
 - ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。